

## 地域福祉計画策定に関する動画視聴&意見聴取会について

### 【地域福祉計画策定に関する説明動画】

☆動画本数：9本

☆再生回数：延べ1,026回（R2.12.17現在）

### 【地域福祉計画策定に関する動画視聴&意見聴取会】

☆開催日：2020（令和2）年10月19日～31日

☆開催場所：ハイトピア伊賀 他市内7会場

☆参加者数：97名

### 【WEBフォーム】

☆回答者数：9名

### ◎説明動画作成から意見聴取会開催へ至る経緯

・第4次計画においても、第3次計画同様に市民の意見を計画に反映するために、市内7会場においてタウンミーティングを開催する予定でした。

タウンミーティングの開催方法については、あらかじめ課題とそれに対してのインパクトゴール（達成すべき目標）を設定し、そこに至るプロセスについて、ワールドカフェ形式により意見をいただくという予定でした。

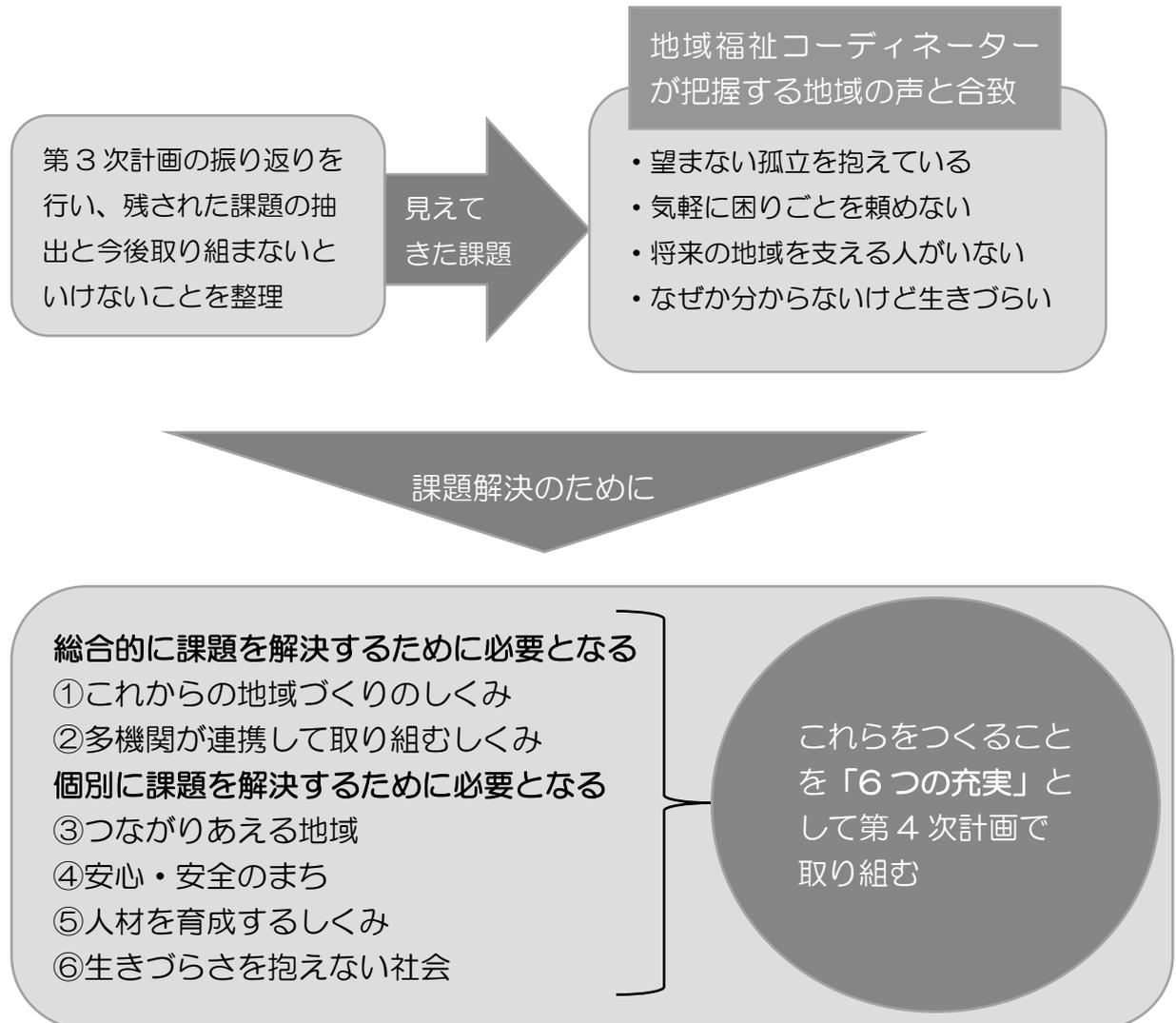
そんな折、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が拡大し、感染防止対策として、多くの人が集まり意見を交わし合うことが困難となり、やむなく中止をすることになりました。

しかし、このような状況下でもやはり計画を策定するためには【市民の声】が必要であると考え、市と伊賀市社会福祉協議会が共同で「地域福祉計画策定に関する説明動画」を合わせて9本作成し、市の公式YouTube「忍者市チャンネル」にアップロードして見ていただくことを考えました。

・動画作成作業を進めるうちに、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大に歯止めがかかり、感染対策を行ったうえで市民が集うことが可能となったことから、より多くの人に動画を視聴してもらって意見をいただく方法はないかと考え、当初開催予定だった市内の7会場において「地域福祉計画策定に関する動画視聴&意見聴取会」を開催することになりました。

## 動画のテーマ設定について

◎説明動画のテーマについては以下のプロセスにより設定しました。



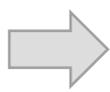
## 1. みんなでつくる地域福祉コミュニティ

いただいた意見

◎「1人1人がいきいきと暮らすために必要なこと」について

- ・地域における活動が充実し、積極的に参加すること
  - ・地域での支え合いが充実すること
  - ・全世代が参画できるしくみをつくること
  - ・生涯にわたる生きがい活動を行うこと
- etc

解決に向けて取り組むこと



- ・住民が気軽に参加できる居場所づくり
- ・その地域にしかない独自の誇れるモノを見つける

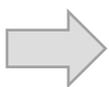
## 2. 多機関の連携による福祉の「わ」づくり

いただいた意見

◎「福祉の「わ」の構築によりできること」について

- ・分かりやすい「わ」の構築
  - ・災害時等における連携した取り組み
  - ・地域を支援する体制の確立
  - ・見守り支援体制の充実
- etc

解決に向けて取り組むこと



- ・市が中心となり、さまざまな機関との連携体制の構築
- ・市だけではできないことへの取り組み

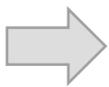
## 3. つながりあえる地域づくり

いただいた意見

◎「孤立のない社会の実現のために必要なこと」について

- ・見守りや声かけ等が充実すること
  - ・いろんな人が集まり交流する場をつくること
  - ・社会参加の促進するしくみをつくること
  - ・支援していく体制を充実すること
- etc

解決に向けて取り組むこと



- ・孤独を抱えやすい人を支援する体制を充実させる
- ・孤立状態にならないための普段の行動の意識の変化させる
- ・しくみや居場所をつくる

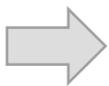
#### 4. 安心と安全のまちづくり

いただいた意見

◎「認知症を原因とした行方不明による死亡者をゼロにするために必要なこと」  
について

- ・見守りをはじめとしたちいきでのつながりをつくること
- ・GPS等のICTの活用を進めること
- ・介護負担にならない取り組みを推進すること
- ・認知症の人に対する正しい理解の啓発をすること etc

解決に向けて取り組むこと



- ・認知症になるリスクを少なくするためつながりづくりを行う
- ・ICTの活用とともに、非常時の体制をつくる
- ・認知症を理解する啓発や見守り支援を強化する。

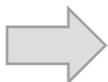
#### 5. これからの人材を育成するしくみづくり

いただいた意見

◎「(将来にわたる)地域行事・地域活動等の実現に必要なこと」

- ・子どもたちに体験する機会を持ってもらうこと
- ・地域で住民が参加しやすい環境を整えること
- ・地域行事や活動に関心を持ってもらうようにすること
- ・若い人に参加してもらえようようにすること etc

解決に向けて取り組むこと



- ・小さい頃から参加できるプログラムにより地域への愛着を育む
- ・行事や活動に参加しやすいような取り組みに努める
- ・後継者育成のために運営に関心を持ってもらうようにする

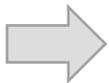
#### 6. 生きづらさを抱えた人に寄り添う社会づくり

いただいた意見

◎「LGBT、外国人、障がい者等のマイノリティで生きづらさを抱えている市民の減少に必要なこと」

- ・マイノリティの人たちについて正しく理解し合うこと
- ・理解するために周知や啓発を行うこと
- ・コミュニケーションを取れる社会づくりをすること
- ・交流する場や意見交換する場をつくること etc

解決に向けて取り組むこと



- ・理解するだけでなく理解してもらうことにも努める
- ・お互いがコミュニケーションを図ることが出来るようにする
- ・そのための交流を行う場やしくみをつくる

